

市民意識調査の結果がまとまりました

市では、8月に市民意識調査を実施しました。この調査は、市民の皆さんが行田市に対して普段どのような考えを持っているかを把握し、各種行政施策の基礎資料とすることを目的として行ったものです。

この調査では、市民意識調査の結果の主なものについて紹介します。

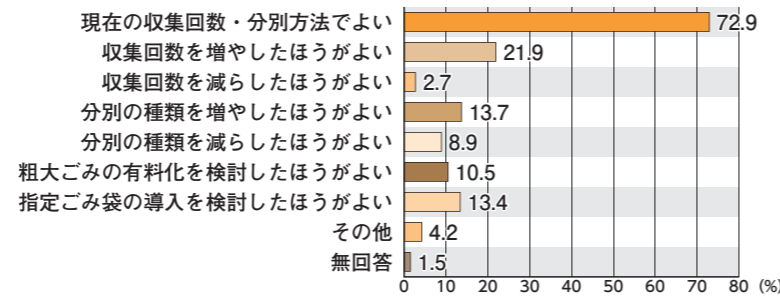
(比率は全て百分率(パーセント)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。)

調査の概要

- 調査対象 市内在住の満20歳以上の方
- 調査人数 3千人(無作為抽出)
- 回答数 1千700票
- 調査方法 調査票を郵送の上、記入後に返送
- 調査期間 平成26年8月

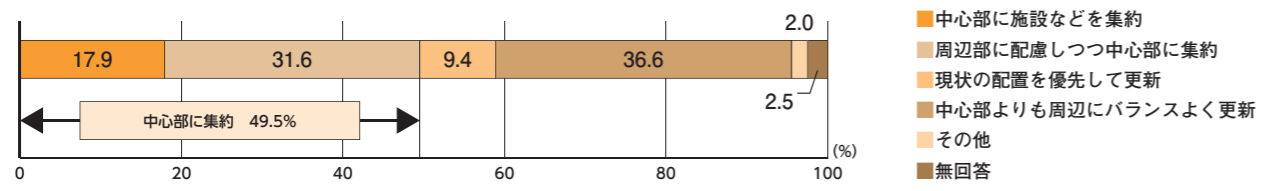
質問：市のごみ収集体制(収集回数や分別方法など)についてどのようにお考えですか(複数回答)。

結果：ごみの収集回数については、「現在の収集回数・分別方法でよい」が72.9%で最も多く、「収集回数を増やしたほうがよい」とする人は21.9%となっています。



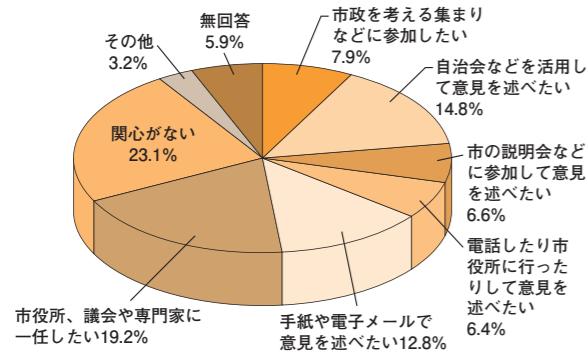
質問：今後、インフラや公共施設などの維持更新コストの増大が見込まれますが、施設・都市機能はどのように整備すべきだと思いますか。

結果：施設や都市機能整備のあり方については、「中心部に施設などを集約」(17.9%)と「周辺部に配慮しつつ中心部に集約」(31.6%)を合わせた“中心部に集約”と回答した人が49.5%とほぼ半数を占め、「中心部よりも周辺部にバランスよく更新」が36.6%、「現状の配置を優先して更新」が9.4%となっています。



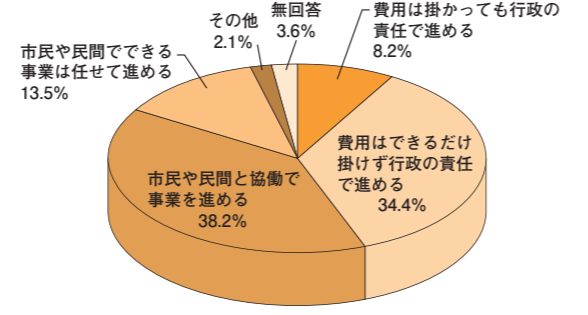
質問：市政への参加についてどのようにお考えですか。

結果：市政への参加については、「自治会などを活用して意見を述べたい」や「手紙や電子メールで意見を述べたい」など、何らかの形で参加や意見を述べたいと考える“参加意向あり”の人が48.5%となっています。一方、「関心がない」と「市役所、議会や専門家に一任したい」を合わせた“参加意向なし”の人は42.3%となっています。



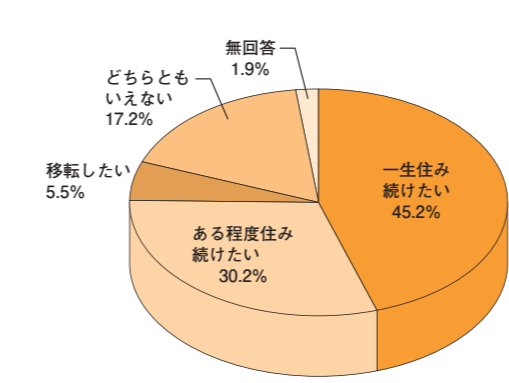
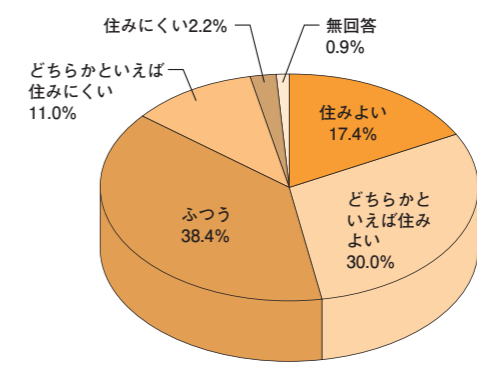
質問：今後の行政運営について、どのような方向が望ましいと思いますか。

結果：今後の行政運営については、「市民や民間と協働で事業を進める」と「市民や民間でできる事業は任せて進める」を合わせた“市民や民間と協働”が51.7%となっています。一方、「費用は掛かっても行政の責任で進める」と「費用はできるだけ掛けず行政の責任で進める」を合わせた“行政の責任”は42.6%となっています。



質問：行田市の住み心地はいかがですか。

結果：まちの住み心地は、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した“住みよい”が47.4%で、“住みにくい”〔住みにくい〕「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の13.2%より34.2ポイント上回っています。

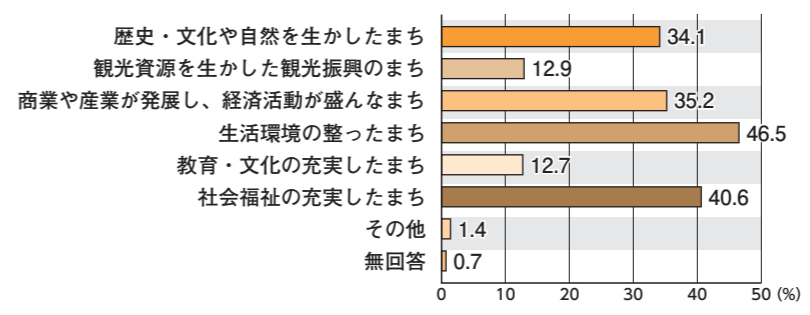


質問：今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。

結果：今後の居住意向は、「一生住み続けたい」が45.2%と最も多く、「ある程度住み続けたい」30.2%、「どちらともいえない」17.2%、「移転したい」5.5%となっています。「一生住み続けたい」と「ある程度住み続けたい」を合わせた“住み続けたい”は75.4%となっています。

質問：行田市が、将来どんなまちになったらよいとお考えですか。

結果：行田市の将来像は、「生活環境の整ったまち」(46.5%)が最も多く、次いで「社会福祉の充実したまち」(40.6%)、「商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち」(35.2%)、「歴史・文化や自然を生かしたまち」(34.1%)となっています。



平成26年度行田市民意識調査報告書概要版を差し上げます

平成26年度行田市民意識調査の報告書がまとまりましたので、概要版を12月8日(月)から無料で配布します。ご希望の方は、広報広聴課または市政情報コーナーまでお越しください(無くなり次第終了)。なお、内容は市ホームページでもご覧いただけます。

▶問い合わせ 同課広報広聴担当(内線318)